

第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2016年6月11日(土)～12日(日)

@浅草ビューホテル、台東区立浅草公会堂、台東区民会館、東京都立産業貿易センター台東館

ワークショップ4	
企画名	忙しい医療従事者のための5分間ティーチング講座 -Up to date なティーチングを实践しよう-
日時	2016年6月11日(土) 10:30～12:00
会場	第11会場 (台東区民会館 8階 第4会議室)
企画責任者	北野夕佳 (聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院)
定員	24名
開催の目的・概要	
<p><b>【開催の目的】</b></p> <p>明日から使える手法及びティーチング内容を身につけてもらうことを目的としているため、今回は「医師かつ後期研修医、スタッフ医を対象」とした。</p> <p>我々医療従事者は、多忙な日常臨床業務をこなしつつ、自らの医療知識をアップデートしかつ後進に教育しつつける必要がある。「教えることは2度学ぶことである=Teaching is learning」であり、後進に教育=ティーチングすることで自らに対して絶大な教育効果もある。今回は多くの仕事で用いられる5分間ティーチングを、医療従事者の教育の手段に応用したいと考える。</p>	
<p><b>【概要】</b></p> <p>問題抽出から作成、発表に至るまでの過程や、人への伝え方を参加者全員が共有できるようなインタラクティブなワークショップを目指している。最初にティーチングの例を実演し、5分間ティーチングを医療現場で実践するための9か条を確認する。具体的なポイントとは、</p> <ol style="list-style-type: none"><li>①目の前の症例に即した、実用的な知識をティーチングする。</li><li>②相手のレベルにあった情報をティーチングする。</li><li>③他の症例にも使用できる一般論とする。</li><li>④実際に遭遇する頻度の少ない状況、症例も伝える。</li><li>⑤相手の理解度を質問により確認する。</li><li>⑥ティーチング受けた者は別の者を教える。</li><li>⑦臨床上の疑問に出会うたびに、明確な根拠のある情報収集を行い、それを自分の知識および5分間ティーチング持ち札として蓄積してゆく。</li><li>⑧セミナー、学会、勉強会などに聴衆として出席する時は5分間ティーチングの持ち札を増やす機会と捉える。</li><li>⑨指導医同士でも自分の持ち札をシェアする。</li></ol> <p>その後実際にグループワークで実践してもらう。参加者がこちらで事前に用意したもの(簡潔な一般論=型)を発表し定着してもらう形式と参加者が3人1組となり各々5分間ティーチングを作成、発表を行うことで感触と見えない自分の改善点を確認する形式の2つを経験してもらう。当ワークショップを通じて、各病院での教育に活用いただければ幸いである。</p>	